

2月定例会の一般質問

19人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い質し、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。

Topics

議員はこんな内容を質問しています！

- ・ 18歳以下の子どもへの1万円給付 →P13
- ・ 地域福祉体制の整備 →P13
- ・ 近隣自治体との提携 →P14
- ・ イオン富士宮の期日前投票所 →P14
- ・ 富士宮の「水」 →P14
- ・ これからの自治体職員の採用 →P14
- ・ 中学校の部活動 →P14
- ・ 介護人材不足による経営難 →P15
- ・ オーガニックビレッジ宣言 →P15
- ・ 商店街活性化のための顧客獲得 →P15
- ・ 畜産酪農の現状 →P15
- ・ 少子化対策 →P15
- ・ マイナンバーカードの正しい情報 →P16
- ・ 自転車の交通ルール →P16
- ・ 今後のコロナ感染症の対応 →P16
- ・ スポーツ環境 →P16
- ・ 通学路点検と防犯カメラ設置 →P16
- ・ eスポーツ →P17
- ・ 少子高齢化対策 →P17
- ・ 手話言語条例制定後の現状 →P17
- ・ 中学校の制服の選択 →P17
- ・ 保育園等の対応と保育士配置基準 →P17
- ・ 福島第一原発事故の教訓 →P17
- ・ 公共交通の充実 →P18
- ・ 畜産酪農への緊急支援 →P18
- ・ 感染症の事実確認と今後の対応 →P18
- ・ 市立病院会計の待ち時間 →P18
- ・ 北町阿幸地線歩道未開通 →P18
- ・ 災害に対応した都市づくり →P19
- ・ 市営永代供養墓地と納骨堂の建設 →P19
- ・ 生活保護の不正受給の調査と実態 →P19
- ・ ふじのくにエネルギー総合戦略 →P20
- ・ 少子化や学校老朽化に伴う学校再編 →P20
- ・ 有機給食と給食無償化 →P20
- ・ プログラミング教育の現状と課題 →P21
- ・ 小中学生への盲導犬などの福祉学習 →P21
- ・ 有機農業産地づくり推進 →P21
- ・ 富士川かりがね橋の完成の影響 →P21
- ・ 富士川左岸道路の必要性 →P21
- ・ 土地利用計画 →P21
- ・ 協議体の進捗と市民への周知 →P22
- ・ 自治会の衰退とその在り方 →P22
- ・ 空き家などの困った土地について →P22
- ・ 自治会の区割りや町内会編成 →P22

その他、紙面の都合上、掲載しきれなかった質問

- ・ 改正道路交通法のヘルメット等の変更
- ・ 観光資源について
- ・ 全国体力テスト
- ・ 自転車利用者のヘルメット着用
- ・ 放置竹林とバイオ炭



さの かずや
佐野 和也
(育成)

18歳以下の子ども1人につき、1万円の給付を行う根拠について

問 なぜ18歳以下なのか。18歳以下なら働いていても支給されるのか。専門学校や大学へ通っている方も経済的に苦しいのではないかと。

部長 児童福祉法の絡みで、一定の定義を持って18歳で線を引いた。働いている、働いていない、どのような学校に通学しているか、といったことについての判断はしていない。全ての18歳以下のということで判断している。

問 1万円の金額の根拠について。

部長 令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金、これが子ども1人当たり1万円であったことから、それに準じて1万円とした。

問 年金暮らしの高齢者や生活保護受給者、在宅介護者なども影響を受けていると思うが、そ

らの方々への経済支援は考えているのか。

部長 国の施策に基づいて、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を住民税非課税世帯を対象に行っており、現状、市独自の施策などについては考えていない。

地域福祉体制の整備について

問 寄り合い処の開催の継続についての相談等について。

部長 次の担い手が見つからないという相談を受け、活動継続に苦慮しているという話も聞かれる。その際には、市社会福祉協議会の職員が運営者と協力して、今後の活動内容の見直しや運営について話し合いを重ね、担い手となる方の選出をお願いしている。

問 寄り合い処の今後について。

市長 寄り合い処というものの重要性は十分認識している。市社会福祉協議会とも十分協議して、私もできるだけ支援する方向で頑張りたいと思っている。